

京都大学 GCOE「アジア・メガシティの人間安全保障工学拠点」
京都大学 - 清華大学環境技術共同研究・教育活動の展開に関するセミナー

- ・ 代表者：津野洋
- ・ 日時：2008年9月22日 13時15分～20時00分(関係者記念撮影、交流会を含む)
- ・ 場所：京都大学百周年時計台記念館国際交流ホールⅢ
- ・ 主催：京都大学大学院工学研究科、京都大学 GCOE「アジア・メガシティの人間安全保障工学拠点」プログラム
- ・ 共催：なし

・ 主な参加者

松本紘 京都大学理事・副学長、大寫幸一郎 京都大学副学長・工学研究科長、
嘉門雅史 京都大学地球環境学堂長、荒木光彦 京都大学名誉教授、
武田信生 京都大学名誉教授、森澤眞輔 京都大学大学院工学研究科副研究科長
津野洋 教授、松岡譲 教授、藤井滋穂 教授、田中宏明 教授 など京都大学関係者
郝吉明 清華大学教授、刘文煌 清華大学深圳研究生院副院長、
马辉 清華大学深圳研究生院副院長、王伟 清華大学教授、胡洪营 清華大学教授、
张锡辉 清華大学教授 など清華大学関係者
日中環境技術研究講座寄附企業など含む一般
計 95 名

・ シンポジウムの目的概要

寄附講座日中環境技術研究講座および京都大学 - 清華大学環境技術共同研究・教育センターにおける3年間の活動報告と、GCOEプログラムおよびEMLプログラムにおける深圳拠点での今後の展開に関するセミナー

・ プログラム (タイムスケジュール、講演者の名前、講演タイトル含む、別途ファイル可)
添付資料参照

・ シンポジウムの様子、得られた成果

第1部では、京都大学、および清華大学(北京キャンパス、深圳研究生院)における国際連携に関して発表が行われ、京都大学と清華大学の交流、共同研究の歴史が紹介された。続いて、3年間の成果を基に、延長が決定した京都大学 - 清華大学環境技術共同研究・教育センターの延長覚書・備忘録の署名が、大寫幸一郎 京都大学大学院工学研究科長と刘文煌 清華大学深圳研究生院副院長との間で行われた。これにより、今後5年間中国広東省深圳市における共同研究・教育が継続されることとなった。

第 2 部では、中国における環境保全対策について、大気、廃棄物、水環境の発表が行われ、中国での環境問題およびその保全対策に関する最新の情報が報告された。

続いて、共同センターでの活動報告、GCOE プログラムならびに EML プログラムの紹介、およびこれらのプログラムを通じた深圳拠点における今後の研究・教育展開に関する発表が行われた。

交流会は、これまでの交流を物語るように暖かな雰囲気が進められ、今後の研究・教育に対する期待のこもった熱い議論が行われた。

- ・ 写真数枚（会議の様子、主催者が開会の辞を述べている様子、集合写真、等がもしございましたら挿入下さい）



関係者記念撮影



大嶋幸一郎 京都大学大学院工学研究科長の開会挨拶



会場の様子



共同センター延長の覚書・備忘録の署名
左：大嶋幸一郎 京都大学大学院工学研究科長
右：刘文煌 清華大学深圳研究生院副院長